

令和6年度 墨田区立菊川小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 谷澤 あゆみ

学校教育目標	よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
目指す学校像	すべての児童にとって自分の居場所があり、学びを積み重ねることが出来る学校、自分の個性をよさとして認め、より良い生き方を目指していける学校
目指す児童像	○学ぶ意欲をもち、基礎的・基本的な学習内容を身に付け、社会の変化に対応していく子 ○自己肯定感をもち、互いに認め合い、励まし合う、心豊かでやさしい子 ○自ら体を鍛え、自他の生命を尊び、健康で明るく元気な子
目指す教師像	○個々の専門性や持ち味を生かし、謙虚に学び高め合う教師 ○児童への愛情をもって接し、児童・保護者との信頼関係を築ける教師 ○「子供のためになるか」を評価尺度にし、協働して誠実な学校運営を進める教師

令和6年度 学校経営計画における重点内容

○学校に行くことが楽しいと感じられる学校

- ・児童の良さや頑張りを認め、自己肯定感を高められる人間関係の構築

○安全で安心できる学校

- ・社会性の基礎となる礼儀やあいさつ、授業規律や規範意識を確立する生活指導

◎生きる力が身に付く学校

・基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力を伸長させる学習活動

○教職員が協働して成果を出していく学校

- ・主幹教諭、主任教諭が中心となり、各校務分掌の進行管理を行い、組織的な運営を機能させる。

○地域から信頼される学校

- ・保護者や地域への情報発信、学校や地域への愛着を育む教育と体験活動の充実

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
	確かな学力を育てるための分かりやすい授業を実施する。	①課題解決型授業の学習過程を定着させ、児童が主体的に考える授業を展開する。 ②週3回朝自習、年2回自主学习週間に全学級取り組み。 ③ICTを活用した分かりやすい授業を実施する。	4	タブレット端末を活用した授業実施率80％以上	4	4	区学力状況調査の全国正答率を全学年が上回る	3	校内研究を通して授業改善を進め、課題解決型の学習が定着しつつある。朝自習、自主学习習慣は全校で取り組むことができ、高学年でのタブレット活用は、定着してきた。	毎時間、児童の自力解決の時間を確保し、一人一人が自分で考える授業を展開する。低学年ではノーと指導を徹底する。基礎、基本の定着を目指し、アウトプットの活動を重視する。	A	A	ICT支援員の有効活用により授業の一層の改善が図られるとよい。 児童の利用の仕方に関する課題も明らかにしてほしい。 校内掲示の工夫が素晴らしい。
			3	タブレット端末を活用した授業実施率60％以上		3	区学力状況調査の全国正答率を4学年が上回る						
			2	タブレット端末を活用した授業実施率50％以上		2	区学力状況調査の全国正答率を3学年が上回る						
			1	タブレット端末を活用した授業実施率50％未満		1	区学力状況調査の全国正答率を上回る学年が2学年以下						
各教科指導等	特別な支援を必要とする子供に対しての組織的な支援を行う。	①特別支援コーディネーターを複数配置し、心理士、カウンセラーとの連携を図る。 ②連携型個別指導計画、まなびの教室連絡帳による学習状況の共有。保護者面談や保護者学習会の実施により、個に応じた指導を推進する。 ③月1回特別支援委員会、年3回特別支援校内研修会を実施し全教員の特別支援教育の理解を深める。	4	連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況100％以上	4	4	校内特別支援委員会、校内研修会実施状況100％以上	4	まなびの教室担当者と学級担任が密に連絡を取り合い、通級児童の特性理解に努め、丁寧な指導を積み重ねてきたことにより、課題の達成に向けて良好な進歩が見られる児童が多かった。	まなびの教室での取り組みを生かし、学級でも自己コントロールをしながら対応ができるように指導を進めていく。担任が特別支援についての理解を深め適切な指導・支援ができるようさらに研修を重ねていく。	A	A	学びによる児童の進歩は大きい。担当者が休みの時も、個別指導が行えるように対応できるとよい。 支援を要する児童 配慮を要する児童の理解を深め、情報を担任・まなび教員だけでなく全教職員で共有することが大切である。
			3	連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況90％以上		3	校内特別支援委員会、校内研修会実施状況90％以上						
			2	連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況70％以上		2	校内特別支援委員会、校内研修会実施状況70％以上						
			1	連携型個別指導計画に基づく指導の取組状況70％以下		1	校内特別支援委員会、校内研修会実施状況70％未満						
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取り組みを行う。	○校内OJT12回以上、校内研究授業年3回実施により指導力向上を図る。 ○人事考課の自己申告、授業観察を3回以上実施し、授業観察シートに基づいた指導を行う。	4	授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況100％以上	4	4	児童アンケートによる肯定的回答80％以上	4	児童の90％が「授業は」分かりやすい」と答えている。管理職による授業観察を年3回以上実施し、授業力向上のための指導を継続している。	授業規律を定着させ、どの児童にも基礎的・基本的な内容を身に付けさせることが出来るよう、教員同士の授業観察も継続し指導力向上に努めていく。	B	A	話を聞く姿勢を1年生からしっかりと身に付けてほしい。新しい学びの形に合わせた授業づくりを推進してほしい。
			3	授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況90％以上		3	児童アンケートによる肯定的回答70％以上						
			2	授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況70％以上		2	児童アンケートによる肯定的回答60％以上						
			1	授業力向上のOJT及び研究授業の実施状況70％未満		1	児童アンケートによる肯定的回答60％未満						
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組を行う。 いじめ、不登校の予防や早期発見・早期対応を組織的に行う。	①いじめ防止アンケート、いじめ防止対応授業を計画的に実施する。 ②5年生の全員カウセリングを実施する。 ③いじめの訴えに応じ、いじめ防止対策委員会を立ち上げ、早期に対応する。	4	いじめ防止対応授業の実施4回以上	3	4	児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況100％以上	3	思いやりの心や規範意識の指導について保護者の肯定意見は83％であった。道徳、特別活動を通して相手の気持ちを思いやることの大切さを考えさせる授業を行っている。	「いじりといじめ」など児童の生活の中で起こりうる状況をテーマに自分事として考えられる学習を計画的に行っていく。	B	A	今後もいじめのない学校であるように、子供の様子を見守り、継続的に指導を行って欲しい。
			3	いじめ防止対応授業の実施3回以上		3	児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況80％以上						
			2	いじめ防止対応授業の実施2回以上		2	児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況60％以上						
			1	いじめ防止対応授業の実施2回未満		1	児童・保護者アンケートでいじめの事象に対する対応状況60％未満						
	基本的な生活習慣・規範意識の確立・温かな人間関係を構築する心の教育の充実を図る	①挨拶、言葉遣いの指導を通年で行う。 ②考える道徳、議論する道徳授業を積みあげる。 ③学級会や学校行事を通して達成感や連携の喜びを味わわせる。	4	教員アンケートによる挨拶指導の組織的实施100％	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価80％以上	4	毎朝の校門での挨拶指導や児童による挨拶運動の取組が効果を上げている。学級会や学校行事を通して児童同士の団結力や仲間意識が高まっている。	登校時の遅刻や忘れ物など個別の指導が必要な児童には、家庭と連絡を取り合い指導を行っていく。	A	A	概ねよい。
			3	教員アンケートによる挨拶指導の組織的实施90％以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価70％以上						
			2	教員アンケートによる挨拶指導の組織的实施70％以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価60％以上						
			1	教員アンケートによる挨拶指導の組織的实施70％未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価60％未満						
	危機回避能力の育成や児童の安全を確保するための取組を行う。	①月1回避難訓練、安全点検、施設点検を計画的に実施する。 ②交通事故回避のための交通安全教室の実施。 ③不審者等からの危険回避能力の育成を図る。	4	避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況100％	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90％以上	4	避難訓練・安全点検については計画通り実施した。月1回の安全指導日には、指導内容をもれなく取り上げることが出来るよう、担当者から確認をするようにした。	季節や天候に応じた危険回避の指導を、適切に実施していく。（夏季の熱中症予防、台風や降雪時の登下校など）	A	A	近隣の状況においても情報収集し、児童・家庭に警戒を促してほしい。
			3	避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況90％以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80％以上						
			2	避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況80％以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70％以上						
			1	避難訓練・安全教室・安全点検の取組状況80％未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70％未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
学校の管理運営	経営方針に基づいた組織的な教育活動・学校運営等を行う。	①教職員が専門性や個性を発揮できるよう職場環境を整え、適材適所に配置する。 ②働き方改革を推進し会議の効率化を図る。 ③体罰の根絶をはじめ、服務等の規律を正し、適正な管理運営を図る。	4 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 9 5 %以上	3	4 保護者アンケートでの肯定的評価 9 0 %以上	3	自己申告面接において、学校経営方針に対する取組を申告し、各教員が具現化に努めている。区小研や教師道場などの研究の機会を通じて専門性を高め、OJTで得意分野の講師を努め伝達を行っている。	体罰や不適切な指導がないように月 1 回の服務事故防止研修を継続し、教職員が注意をしながら服務事故回避に努める。	B	B	教職員の連携がとれている。さらに指導力を高め、質の高い学校経営を目指してほしい。 対児童に対する服務事故防止はもちろんのこと、公務員としての服務規律の鉄蹄に努めてほしい。
			3 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 9 0 %以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 8 0 %以上						
			2 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 8 0 %以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %以上						
			1 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 8 0 %未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %未満						
	児童の実態に合わせた教育目標の設定及び学校評価等を適切に行う。	①週1回の経営会議、各分掌会議、日々の授業観察、自己申告により、組織的に課題解決が行われているか進捗状況を確認し適宜改善を図る。	4 各分掌会議の実施状況 9 5 %以上	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 9 0 %以上	4	授業参観や学校行事の実施後には必ず保護者アンケートを実施した。また、教員の間・期末の学校評価において自己評価を行い、学校運営全般に改善を行っている。	教育活動のよりよい在り方を求め、子供のためになるかを判断基準として改善を重ねていく。	A	A	概ねよい。
			3 各分掌会議の実施状況 9 0 %以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 8 0 %以上						
			2 各分掌会議の実施状況 8 0 %以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %以上						
			1 各分掌会議の実施状況 8 0 %未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %未満						
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	①月1回教員による環境整備、および安全点検を実施し、危険個所を随時改善する。	4 安全点検の実施状況 1 0 0 %	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 9 0 %以上	3	月 1 回の定期的な施設点検の他、管理職の校舎内見回りを毎日行い、危険個所の修繕はすぐに行ってきた。	他校で事故の報告があった際には、同様の状況が起きていないか予防的な点検を実施する。	A	A	概ねよい。
			3 安全点検の実施状況 9 0 %以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 8 0 %以上						
			2 安全点検の実施状況 8 0 %以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %以上						
			1 安全点検の実施状況 8 0 %未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %未満						
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等を行う。	学校公開、学校便り、各種たより、掲示板、ホームページの充実を図り、学校からの情報を積極的に発信する。	4 ホームページの更新状況 毎週2回以上	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 9 0 %以上	4	学校行事の他、出前授業や体験的活動の様子をすぐにホームページに掲載し、家庭や地域の方への情報発信に努めてきた。	低学年においては家庭への連絡が徹底するように連絡帳を有効に活用する。	A	A	ホームページがよく更新されており、きれいで見やすい。学級通信が充実し、児童の活動の様子がよくわかる。
			3 ホームページの更新状況 毎週 1 回以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 8 0 %以上						
			2 ホームページの更新状況 隔週 1 回以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %以上						
			1 ホームページの更新状況 隔週 1 回未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %未満						
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	保護者会、個人面談、学校運営連絡協議会等により、教職員と保護者、地域関係者とが連携して教育活動を推進する。	4 保護者会・保護者面談等の実施状況 1 0 0 %	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 9 0 %以上	3	保護者会、個人面談の際には全家庭の保護者の方との面談が実施できた。これ以外の時期にも、必要に応じて教員から家庭に連絡し、連携して児童の指導に当たっている。	働き方改革を進めながら、問題が起きた時だけでなく学校での児童の頑張りや成長を家庭に報告できるように努めていく。	B	B	地域との連携にあたり、もっと密に連携をとる必要がある。錦糸町南口のパトロールも復活してはどうか。公開授業や出前授業の予定をその都度教えて欲しい。
			3 保護者会・保護者面談等の実施状況 9 0 %以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 8 0 %以上						
			2 保護者会・保護者面談等の実施状況 8 0 %以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %以上						
			1 保護者会・保護者面談等の実施状況 8 0 %未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 7 0 %未満						
	配慮を要する児童の課題解決のために、外部機関、外部人材を活用する。	児童相談所・子育て支援センター・民生委員等地域関連機関に協力を要請し、連携して課題解決を図る。	4 必要に応じた連携要請の状況 9 5 %以上	4	4 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 9 5 %以上	4	児童相談所・子育て支援センター・ＳＳＷ・民生委員と連携し、ケース会議を開いている。情報共有により、配慮のある指導・支援につながっている。	児童館・地域施設とも必要に応じて情報共有を行っている。	A	A	関係機関との情報共有はよくできている。
			3 必要に応じた連携要請の状況 9 0 %以上		3 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 9 0 %以上						
			2 必要に応じた連携要請の状況 8 0 %以上		2 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 8 0 %以上						
			1 必要に応じた連携要請の状況 8 0 %以下		1 教職員の自己評価・関係者評価の肯定的回答 8 0 %未満						

○令和 6 年度 学校経営報告のまとめ（総括）

- ・学力向上・体力向上・豊かな心の育成の 3 つの柱の取組については、計画的・組織的に実践に取り組み成果を上げてきた。挨拶をはじめとする基本的な生活習慣、学校での規範意識も発達段階に応じて身に付けることが出来ている。
- ・学校に行くのが楽しいと全ての児童が思えるような学校づくりを目指して、教師の指導力向上・授業改善をさらに進めていくと共に、ホームページやお便りを通して教育活動の様子を積極的に発信していく。